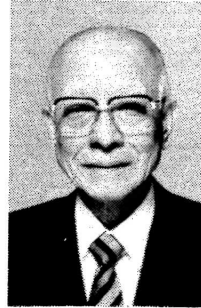


中央大学は明治十八年、神田錦町に本学の前身、英吉利法律学校として創設されてから昨年で百年を迎えました。その間、「質実剛健と家族的情味」の校風の下、多くの人材を世に送り、第二世紀に向って大きく飛躍しようとしています。

国立白門会は昭和五十三年に誕生し、昭和五十七年には学員会支部に昇格し、今日まで順調な歩みを続けて参りました。

国立白門会が今日あるのは、役員諸氏の並々ならぬ努力と学員諸氏の御理解と御協力の賜と深く感謝いたします。中央大学を支えているのは、



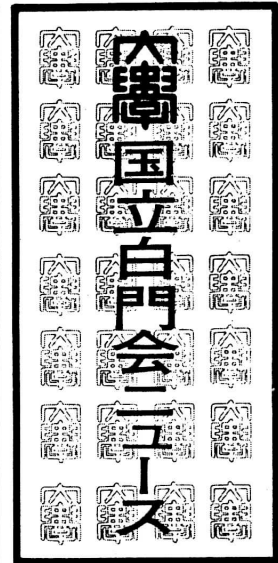
第二世紀に向けて

中央大学は多摩の地に本拠を移転しました。三多摩には八王子、立川、日野、国立と三多摩の五つの学員会支部及び調布、町田、青梅の各分会があつて、昨年十月、「三多摩地区連絡協議会」を結成し、相携えて学員会相互の親睦と強化を計ることになりました。国立白門会は地域支部の中でも注目される存在になっていますが、今後の課題がない訳ではありません。若年層の積極的参加と在学生との交流であります。

社会の変化に対応して組織の活性化をはかり、学員相互の親睦の輪を拡げ、絆を強めて、母校の興隆と地域社会の発展に寄与したいと思ひます。

学員であり、学員会は母校の基盤であります。学員会の強化は母校の発展につながります。

支部長 村田 亘



第 13 号
 国立市富士見台1-1-201
 村田 亘 75-2020
 印刷
 真美巧芸 37-2536

創立百周年
 記念式典開かれる
 本学入試状況
 春の見学会は秩父
 あれこれ考える会
 5月18日(日)
 6月15日(日)

中央大学学員会 国立支部 規約改正(案)

- (現行)
- 第四章 顧問
 (顧問)
 第十条 本支部に顧問を置くことができる。
- 2 顧問は役員会で推せんし、本支部の運営について支部長の諮問に依る。
- (改正案)
- 第四章 顧問及び相談役
 (顧問及び相談役)
 第十条 本支部に顧問及び相談役を置くことができる。
- 2 顧問及び相談役は役員会で決定し、本支部の運営について支部長の諮問に依る。

総会のご案内

昭和61年度 第 9 回

下記により定時総会を開催いたします。万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

なお、会場等の都合上、同封のハガキを4月10日(休)までに必ずご返送方よろしく願ひいたします。

- 記
1. 日時 4月20日(日)午後4時30分
 2. 場所 国立商協ビル(国立デパート 2F)
 3. 懇親会費 3,000円
 当日ご持参下さい



映画 「第二世紀を開く」 上映!!

4月20日総会にて4時30分から
 創立100周年記録映画「第二世紀を開く」と題して全国の学員会支部に貸し出されることになりました。

国立支部はその一番目として、第9回総会において上映することになりました。中々見応えのある作品ですので、どうかお見逃しなく。上映開始は4時30分の予定です。



学員名簿

34万余人
 閲覧は村田まで

中央大学創立百周年記念事業の一環として、学員名簿が刊行されました。索引篇と卒業年度・部・科別篇の二巻に分れていて、三万余人が掲載されています。当支部にも一部ございますので、閲覧希望の方は村田亘(七五-二〇二〇)まで。

山梨支部と交流

●秋の見学会●

十月十九日(土) 早朝、恒例の家族ぐるみのぶどう狩りに、総勢二十四名、甲州を指して国立を後にした。

こんどの催しには、もう一つの楽しみが待ち受けていた。というのは、五月の学員会

協議員会と学員総会があった折、国立支部福谷副支部長と同期である山梨支部古屋有恒常任幹事との三十年振りの出会で、ぶどう狩りの機会を活かし、両支部の親睦を深めようという話しから、国立の

十月十九日(土)

ワインの試飲とぶどう狩り
昼はバーベキュー。

山崎武厚生部長と山梨の中込一善事務局長、古屋氏との間で連絡をとり合って今日の運びとなった。

国立支部一行は関喜一理事の厚意で、モンデワイン工場見学とワイン試飲、ついで、メルシャンワイン勝沼工場ではワインの飲み放題、バーベキューは食べ放題の中食を御馳走になり、途中でぶどう狩りをしてから胸とどろかせ、国立、山梨両支部交歓の場所、ミレーの名画で有名な山梨県



山梨支部と伴に

I. 春の見学会

秩父長瀨・三峰神社 5月18日(日)

コース
国立→飯能→正丸峠→秩父ロープウェイ
三峰神社→長瀨→寄居→東松山(関越高速)
所沢→国立

会費 2,000円(車代・高速代)

昼食は各自負担。

午前7時出発予定。希望者は5月10日までに下記へ連絡下さい。

連絡先

山崎 武 72-3948

村田 亘 75-2020

II. 秋の見学会

霧ヶ峰・白樺湖・蓼科湖 10月18日(土)

コース
国立(中央道)→甲府→諏訪湖(松亀味噌工場
見学)諏訪神社(下)→霧ヶ峰→白樺湖(ビー
ナスライン) 蓼科湖→茅野IC→国立

詳細は後日、白門ニュース第14号参照。

年会費納入のお願い

今年の年会費 2,000円を振替用紙で納入お願い致します。(総会当日のご持参も可)

会長杯争奪囲碁大会

十一月二十四日(日)ダイヤパレス集会所で、国立白門会長杯争奪囲碁大会は多数の学員が参加して開かれた。

和やかなムードの中に勝負は進み、荒木繁幸氏が優勝し会長杯を獲得した。一位から三位までには盾が贈呈された後、次回を期し、名残りを惜しんで会を閉じた。



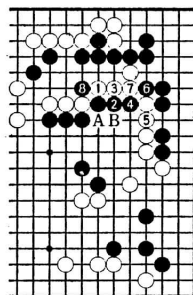
(能味寿哉)

立美術館に向った。着いてみると、待ち構えておられた山梨支部中込事務局長以下役員の方々に迎えられ、互いに握手、案内された美術館向いのレストランで記念すべき両支部の交歓が始まった。

まず、山梨支部中込事務局長から歓迎の言葉があり、これに応えて国立支部村田支部長が謝辞を述べ、続いて山梨の塚原副支部長の音頭で乾杯のあと自己紹介に移った。

懇談に入ってから、用意されたオードブルにしたつづみを打ちながら杯を重ね時の経つのも忘れて話の花が咲いた。母校百周年記念式典での再会を期してこの日の幕を降した。

国立支部一行のバスが遠くなるまで手を振って見送っていた。いただいた感激は、いつまでも忘れ得ぬ想い出であった。



次回は11月16日(日)



スコッチ&チョコレート

西友ストア 東隣り

国立市中1-9-30

創立百周年記念式典開かれる

十一月十三日(水)

副支部長 井上 定 男

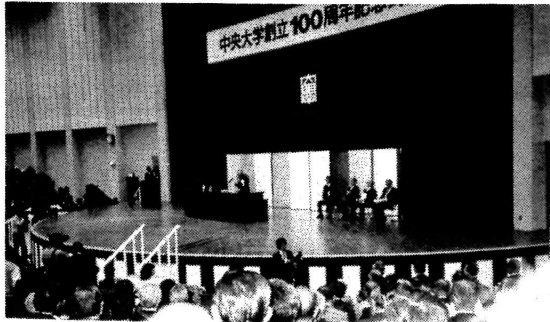
懇親パーティーも

賑やかに……………

十一月十三日午前十時から多摩校舎において、各界からの来賓・OB・教職員・生徒代表等が参列して盛大に式典が催された。

はじめに、中央大学創立百周年を記念し、作曲された「管弦楽の為のファンファーレを祝典楽章」を、小松一彦氏の指揮で中央大学音楽研究会管弦楽部が演奏して雰囲気盛り上げ、挨拶、式辞、祝辞表彰と進行した。

祝典楽章は、学員の西村亜郎氏が作曲したもので、英吉利法律学校として生声をあげた中央大学の黎明期を打楽器に始まる演奏で表現し、着実に歩み続ける大学、飛躍と百周年のときを多摩の地に迎える慶びを管楽器で高らかに奏で、校歌のメロディの展開からアンサンブルへ移行し、鐘の音の響きで次の世紀への幕あけを告げ、未来に向けて力強く伸びゆく中央大学を讃えていて、演奏が終ると万雷



多摩校舎9号館にて

の拍手が湧き起り、暫らく鳴り止まなかった。 渋谷理事長の挨拶と、川添学長の式辞の中で「創立百周年を契機として、中央大学関係者が、過去をふり返えり、伝統と学風とを再確認するとともに、先人の情熱に触れて決意を新たにすることは、新しい世紀に向けて前進するた

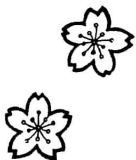
めに、どうしても必要なことである」と述べられた。 明治十八年三十歳前後のイギリス留学新進法曹十八名が、二十八歳の増島六一郎を校長に、英吉利法律学校として創設したことは驚きである。建学の趣意は明治十八年の郵便報知新聞号外に掲載され、現存しているが、イギリス風の堅実で穏健な自由主義を精神として、経験を尊び実際を重んじ、個人の自由と自助の確立、実証精神と在野精神の涵養などを訴えた。 松永光文部大臣祝辞(鳩山文部政務次官代読)に続いて石川日本私立大学連盟会長、堂野学員会会長、ルイ・フアヴォルーエクス・マルセイユ法・経・科学大学名誉学長が祝辞を述べた。伝統をふまえて、これからの社会に指導的役割を果すための大学人の責任を強調されたのに共感し、国際交流を深めようとする大学の姿勢に好感を持った。 功労者表彰のあと、吹奏楽部と男声合唱部、参会者などで校歌を斉唱し、感激の渦の中で式典は閉じられた。 祝賀パーティーは、体育館に五千名に及ぶ来賓・OB・教職員・生徒代表等が出席して開催された。渋谷理事長の挨拶、清水日本私学振興財団理事長および松永文部大臣の祝辞、山本評議員会議長の音頭による乾杯を経て懇親に入っ

た。 国立白門会からは、村田会長ほか十余名が参加し、国立白門会会旗は一際目立ち、会場に溢れる熱気に圧倒される思いの中での楽しい交歓であった。吹奏楽部と男声合唱部がリードする校歌や応援歌はOBの魂をゆさぶり、肩を組んで唱和する姿が見られた。 記録映画「母校よ永遠なれ」は、中央大学が企画し、東映株式会社が製作したものであるが、監督岡本明久氏はじめスタッフのほとんどが本学のOBである。海外からも取材し、三年がかりであったというが、伝統と学風とを確認できるような構成されていた。 ロンドンのミドル・テンブルに掲げられている増島六一郎の肖像、卒業生名簿の中の創設者たち、明治十八年の郵便報知新聞号外、十八人の創設者たちの肖像、膨大な出版物と蔵書、働きながら学び世に出た横田千之助、林頼三郎、谷村唯一郎らの先輩、反骨のジャーナリスト長谷川如是閑、軍閥政治を鋭く批判した議文人浜田国松、翼賛選挙の無効判決を下した吉田久らの映像は実に懐かしく感動的であった。学徒動員、焼野原に残った母校、ヘルシンキオリンピックで金メダルを獲得したレスリングの石井庄八選手の活躍、マラソン、六連覇の箱根駅伝、後楽園キャンパスの近



懇親パーティーにて

代的理工設備などなど。 校歌が流れると場内から合唱が起り、スクリーンの映像に二重写しにして、自分の青春のきらめきを思い起している様子が、場内に満ちているように感じられた。 帰路、福島から来たという紳士に「今日はほんとに良い日でありました」と声をかけられた。 十五万坪の紅葉と白亜のキャンパスに降りそそいでいた太陽は西山に傾き、茜色の夕焼空はひとときは美しかった。



辞任

理事 長
 総長職務代行
 理事 長に
 総長職務代行に

就任

理事 長
 総長職務代行
 谷本利千代氏
 川添利幸学長

長職務代行、六十一年一月十三日、総長職務代行に就任されたが、三月十日、谷本利千代氏が理事長に、三月二十二日、川添利幸学進が総長職務代行に新任された。

百周年記念募金 三〇〇万円突破

期限六三年六月三〇日

中央大学は昭和六〇年をもって創立百年を迎えました。この百周年を期して諸種の事業を企画しており、募金目標は五〇億円です。当支部も募金目標三〇〇万円でしたが、昭和六一年二月末日で三三五万円となりました。これも会員各位の母校に対する変らぬご支援ご協力の賜物と深く感謝いたしております。

尚、募金期限は昭和六三年六月三〇日ですので、何かと出費ご多端の折、誠に恐縮ですが、ご協力下さるようお願いいたします。

寄付金について免税措置があります。個人の場合、年額一万円を越えた金額は確定申告すれば課税所得から控除されます。不明の点がございましたら、

百周年記念出版

図説 中央大学 1885 ↓ 1985

したら村田 亘(七五―二〇二〇)にお問い合わせ下さい。

中央大学百年の歴史を、ぎつしり活字で埋めるのではなく、写真を用いて「図説」としてまとめてある。

巻末に略年表が付いているので、本文と合わせつつ追うと、それぞれの時代の流れがわかる。

母校よ永遠なれ

百周年記念ビデオテープ
 企画・中央大学 製作・東映(株)

ご購入・お問い合わせ等は中央大学出版部まで
 八王子

〇四二六一七四―二三五一

今年の入試状況

広報課調べ

昨年比べ全国の高校新卒者が約二十七万人、私大進学者は約七万人増加しているが、中大はじめ大規模大学の志願者は横バイもしくは下まわる傾向に推移した。

その理由は同じレベルの大学の併願が減少し、合格可能な大学への安全思考また、首都圏大学より地方大学への志願者が増加したことによるものと考えられる。

我中央大学も、その傾向がみうけられ、志願者数は下記の通りである。(別表)

1. 志願者数前年度対比表

	61年度	60年度	増 減
一 部	64,071	65,264	△ 1,193
二 部	7,254	5,967	1,287
計	71,225	71,233	94

2. 諸大学志願者推移表

一部志願者数前年度対比

大学名	61年度	60年度	増 減	増減率
中 央	64,071	65,264	△1,193	△1.8
早 稲 田	134,108	134,063	45	0
明 治 学 院	91,532	91,137	395	0.4
慶 応 大 学	49,824	51,782	△1,958	△3.8
法 政 大 学	55,351	64,891	△9,540	△14.7
立 教 大 学	38,830	38,333	497	1.3
上 智 大 学	24,273	24,648	△ 374	△1.5
青山学院	40,066	41,962	△1,896	△4.5
東京理科大学	47,282	48,425	△1,143	△2.4
導 修 学 院	36,529	33,788	2,741	8.1
明治学院	22,014	20,197	1,817	9.0
東 洋 大 学	39,741	36,851	2,890	7.8
城 駒 沢 大 学	37,392	38,392	△1,000	△2.6
日 本 大 学	126,843	123,580	3,263	2.6
関 西 大 学	61,104	66,295	△5,191	△7.8
西 関 西 学 院	30,399	33,698	△3,299	△9.8
地 同 志 社 大 学	36,859	39,531	△2,672	△6.8
立 命 館 大 学	48,582	45,238	3,344	7.4

3. 学部別志願者数増減推移表

一部志願者数前年度対比

	法	政 治	経 済	商	理 工	文
中 央	△ 163	△ 320	△2,969	2,885	93	△ 719
早 稲 田	△ 587			234	△1,273	△ 958
明 治 学 院	461	△ 540	△ 641	△ 891	(□) 1,305	△1,477
慶 応 大 学	△ 619		△ 354	△ 658	△ 962	199
法 政 大 学	△ 15		△1,321		(□)△1,570	△2,335
立 教 大 学	712		△1,808		(罫) 491	△ 790
上 智 大 学	△ 310		251		△ 145	△ 114
青山学院	△ 947		386		△1,321	△ 195
専 修 大 学	△ 288		993	2,159		△ 656
城 駒 沢 大 学	△1,148		1,657			
東 洋 大 学	△ 98		226		(□)△ 10	△1,641
日 本 大 学	1,575		△4,596	1,603	1,113 616	△ 678
明治学院	△ 139		1,711			794

昭和60年度 国立白門会決算書

●自: 昭和60年4月1日 ●至: 昭和61年3月31日

Table with columns for Income (収入の部) and Expenses (支出の部), each with sub-columns for Budget (予算) and Actual (決算). Rows include items like Annual Fee (年会費), Student Fee (学員会交付金), and various administrative costs.

会計 堀田 勲 会計監査 戸宮 勇之 軌

昭和61年度 国立白門会予算案

●自: 昭和61年4月1日 ●至: 昭和62年3月31日

Table with columns for Item (科目), Summary (摘要), and Amount (金額). Rows include Annual Fee (年会費), Student Fee (学員会交付金), and various administrative costs.

六一年度活動予定

●事業部●

前年度に引き続き、市民祭への参加と、あれこれ考える会は大変好評なので本年度も積極的に実施いたします。

一、市民祭への参加。

十一月二日予定。会員の皆様へバザーの出品をお願いいたします。

二、あれこれ考える会

春・秋の二回、会員の親睦も兼ねて日曜日の午後でも街の事等を色々話し合う場を設けたく計画して行きます。

つきましては、春の部として第三回あれこれ会を左記の通り実施します。

六月一五日(日)午後二時から五時まで、ダイヤパレス集会所(中一〇一三四)お気軽にお越し下さい。

●組織部●

一、会員の消息及び新卒業者の把握。

二、会員名簿の作成、発行

●厚生部●

一、春の見学会。五月一八日(日)詳細は二頁参照。

二、納涼会。七月一九日(土)詳細は後日郵送致します。

三、秋の見学会。十月一八日(土)詳細は二頁参照。

四、秋の市民祭に協力。

五、囲碁大会。十一月一六日(日)

六、新年会。 六二年一月二四日(土)

三〇六番の詳細は第一四号白門ニュース(十月一日発行)に掲載します。

●広報部●

一、白門ニュース第十三及び十四号の発行。

二、記事取材及び投稿。

六〇年度活動報告

◇事業部◇

一、市民祭への参加

恒例行事となった秋の市民祭(十一月四日)への参加。

私達白門会も法律・税務・不動産の無料相談コーナーと、日常不用品のバザーコーナーを設けました。

相談コーナーへは二〇件余りの相談、バザー出品数は二〇〇点以上に及び市民から大変好評を受けました。

尚、相談コーナーでは、次の諸先生にご協力いただきました。(敬称略)

弁護士 弁護士 村上寿夫、溝口敬人 税理士 安戸勇之 不動産鑑定士 久保田利雄

二、あれこれ考える会 (この会の主旨は白門会ニ

ユース第十号、十一号参照)

第二回あれこれ会(十一月十三日、中一丁目ダイヤパレス集会所にて)は約一〇名の方が出席され市政、教育、街の諸々の事を話し合い、会員の親睦も兼ね、大変有意義でした。

◇組織部◇

一、会員の消息及び新卒業者の把握

二、会員名簿再編集の準備

三、部組織規定の作成(昭和六〇年四月一日)

四、会規約の一部改正

◇厚生部◇

一、奥多摩ドライブ。六月二日(日)二〇名参加。

二、納涼懇親会。七月二〇日(土)於一水園。九名出席。

三、秋のワイン工場見学及び山梨支部と交歓会。十月一九日(土)二五名参加。三頁に記事掲載。

四、市民祭に協力。十一月四日(月)バザー出品物の集収及び販売。その他設営・撤収に協力。

五、会長杯争奪囲碁大会。十一月二四日(日)於ダイヤパレス集会所。三頁に記事掲載。

六、新年会。 六一年一月二五日(土)於信濃路。三五名出席。六頁に記事掲載。

◇広報部◇

一、白門ニュース第十一及び十二号の発行。

二、記事取材。(市民祭、懇親会、秋の見学会等)

新春を

恒例新年会
和気合いく三七名



昭和六十一年の新年会は、一月二十五日午後五時半、「信濃路」において開催された。今年も谷清国立市長はじめ、中西旭、市橋千鶴子、酒井博の諸先生など各顧問もお元氣な顔を見せていただき、新顔を含め三十七名、近來にない盛会であった。

山崎厚生部長の司会で井上副支部長の開会で始まり、村田支部長の挨拶の後、顧問の諸先生から激励のお言葉があり、酒井顧問の音頭で乾杯。自己紹介が終って、司会は風



新年会 (S61. 1.25)

間副幹事長にバトンタッチ。懇親会は、鍋を囲んで盃を重ね、同窓ならではの和気あいあいの中に、次々とお得意ののどを披露してのカラオケに、時の経つのを忘れ、入り乱れての談笑が続いたが、最後に、肩を組んで校歌を斉唱し、丸本幹事長の閉会の辞があり、中央大学と国立白門会の万才を三唱、名残りを惜しみながら解散した。

(福谷 実)

青春を語る

志茂田景樹氏

今年の国立市での成人式典で、中央大学OBである直木賞作家志茂田景樹氏が「青春をパフォーマンスしよう」と題し、青春とは自己表現であり、チャレンジ精神旺盛な行動であると、講演された。志茂田氏は昭和四〇年に本学法学部を卒業後、山本寛斎事務所所属のファッション・モデルでもある異色作家であります。

昨年五月、国立白門会が中央大学創立百周年記念講演会を国立市で開催し、志茂田氏を講師として招き「真実の青春」という演題で講演され、その飾り気のない態度と若々しいユニークな内容が聴衆の共感を呼び、今回の運びとな

った。国立白門会が地域文化の発展と母校の興隆に寄与するために活動している賜物と自負しております。志茂田景樹氏の今後のご活躍を祈ります。

ハレー彗星見ゆ

日本で見るとは三月十五日(二〇日ごろ)が良い時期だと聞いて、十五日の夜に房総半島の江見に向かった。あいにくの気象状況で、昨夜来の雪が象徴的で、小雨混じりの強風であった。半ば諦めていたが、現地に着くと空は晴れ上がって満天に星がきらめいていた。しかし水平線上は霞がかかったようで、期待と不安に胸が高まった。

午前四時、双眼鏡をセット。目指すは射手座。運よくすぐに見つかった。星のように点と輝き、その右斜め上方にボカしたように白い帯が延びている。してやったり。

コンピュータ処理した画像も良いが、やはり自然な姿の方が感激も一頻りである。残念なのは曇が出て来て間もなく見えなくなった事である。

NHK・民放各局が南の国へ取材に行っているが、衛星の観測記録を上手に取り入れて、変に凝る事なく特集を組んでくれる事を期待している。

最後に、帰路にも霰に遭遇するという猫の目の様な気象状況で見ることが出来たのは幸運だったと思う。(良)

編集後記

ローマは一日にして成らず。物事を一日で遣り遂げようと、一日単位で計画を立てると時間が足りなくなる。それを一年単位で考えると余裕が出来、一日をとって見ても時間が余ってくる。

白門ニュースも年に二回の発行なので、取材・編集と充分時間はあるのだが、締切が迫らぬとエンジンがかからない。この時期になると本当に「光陰矢のごとし」だが……。

人生航路は長いようで短かい。酔生夢死で終わらない為にも目標を立て、五年、十年と取り組む根気が必要である。

土地・家

アパート・マンション
貸家・仲介・管理
売買・仲介

売買の事・建築・法律・税金の事等無料でご相談いたします。お電話でも結構です。

(学員特に優遇)

(有)久保田商事

代表取締役 久保田 利 雄

国立市西2-20-10

(富士見通り音高前)

TEL 0425-75-2244(代)

Wine & Dinner

あなたのひとときを

イタリアンレストラン

OPEN 11:30AM~10:00PM

中1-9-4 大学通り白十字2F

TEL. 76-1401



緑ゆたかな環境の保全をめざして

緑地設計施工管理
環境衛生販売請負
法面種子吹付工事

関東薬品造園株式会社

国立市谷保6660
Tel (75) 4101(代)

